

第100回〔2024年度〕日本選手権水泳競技大会OWS競技 二次要項 兼 世界選手権(2025/シンガポール)大会・2025年全豪選手権 代表選手選考会

公益財団法人日本水泳連盟
オープンウォータースイミング委員会

■申込状況

参加団体数 73団体
参加選手 155名 (男子89名・女子66名)

■競技について

本競技会は、「(公財)日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則」(以下「OWS競技規則」)に則り実施する(一部、ローカルルールを適用する)。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_ows_20240401.pdf

■スケジュール概要

○9月27日(金)

15:00~16:00 チーム受付(北条海岸)、公式練習
17:00 監督者会議(オンライン Zoom)

○9月28日(土)

6:00 大会可否判断。連盟HP「News お知らせ」欄に掲載する。
7:00~8:00 女子5km選手、男子10km選手・給水コーチ受付
7:15~8:00 女子5km選手、男子10km選手 ウォーミングアップ(指定エリア)
8:30 開会式
8:40 女子5km 選手招集
9:00 女子5km スタート
10:30~11:00 男子10km 選手受付、ウォーミングアップ(指定エリア)
11:15 男子10km 選手招集
11:30 男子10km スタート 栈橋許可登録コーチ入場開始
14:15 女子5km・男子10km 表彰

○9月29日(日)

6:00 大会可否判断。連盟HP「News お知らせ」欄に掲載する。
7:30~8:15 男子5km選手、女子10km選手・給水コーチ受付
7:45~8:15 男子5km選手、女子10km選手 ウォーミングアップ(指定エリア)
9:00 男子5km 選手招集
9:30 男子5km スタート 栈橋許可登録コーチ入場開始
10:45~11:00 女子10km 選手受付、ウォーミングアップ(指定エリア)
11:45 女子10km 選手招集
12:00 女子10km スタート
14:45 男子5km・女子10km 表彰、閉会式

■監督者会議 (Zoomオンライン会議)

日時: 9月27日(金) 17:00開始 (16:45より入室可能)

・本会議はオンライン会議(Zoom)にて実施する。参加URL、ミーティングID、パスコードは、後日HPアップ予定の監督者会議資料に掲載する。(9月25日掲載予定)

・監督者会議資料は、各自でHPからダウンロードし、事前に熟読しておくこと。(当日配布は行わない)

・Zoom 会議参加は、各所属(チーム)から1名のみ参加とする。

・Zoom 会議入室時、所属(チーム)略称および氏名が表示されるよう入力して参加すること。

※なお、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用予定の為、予めZoomをインストールしておくこと。

■チーム受付 ※必ずチーム受付を済ませること（代理受付可能）

- ・日 時：9月27日（金）15：00～16：00
- ・場 所：北条海岸 会場内 総合受付テント
- ・配布物：チームバッグ（プログラム、ADカード、確認資料等）
選手用バッグ（プログラム、ADカード、参加賞等）

■ADカードの写真について

- ・本大会は、写真付きADカードを使用します。※管理者・クラブ関係者・応援ADは写真不要

■入場ゲート

- ・必ず入場ゲートを通して会場へ入退場すること。
- ・ADカードに顔写真がない場合は、入場を断る場合がある。（管理者、クラブ関係者、応援ADをのぞく）

■前日公式練習

- 日 時：9月27日（金）15：00～16：00（16：00退水）
- ・公式練習の際は、必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。
 - ・練習コースは、当日ライフセーバーの誘導・指示に従うこと。
 - ・コース周回泳は時計回りとし、逆泳は禁止とする。

※給水エリア利用方法

- ①給水コーチの入場制限は設けない。但し、一般見学者の立入りは禁止とする。
- ②給水エリアで使用する給水竿は日本水泳連盟 OWS 競技規則に準ずること。
- ③給水で利用した飲み物容器（ペットボトル）等は必ず持ち帰ること。

■大会当日 選手受付

場 所：北条海岸会場内 受付テント

日 時：

- 【9月28日（土）】<女子5km> 7：00～8：00
<男子10km> 7：00～8：00、10：30～11：00
- 【9月29日（日）】<男子5km> 7：30～8：15
<女子10km> 7：30～8：15、10：45～11：00

- ・選手受付の際は、本人確認（ADカード発行）後、「OWS健康チェックシート」を提出、競技で着用する、水着・スイムキャップ、ゴーグルのチェック、手足の爪チェック、装飾品（ジュエリー類）・ウェアラブル端末（事前申請者のみ）のチェックをおこない、ナンバリングをおこなう。
- ・トランスポンダーを1選手につき2つ配布する。選手招集までに両腕に着用すること。ビニールテープを使用する場合は各自で用意のこと。
- ・水着チェックの際は、着用でも持参でも構わない。World Aquatics(IFINAマーク)が見えるように提示すること。

■栈橋入場許可登録及び給水竿検査

場 所：北条海岸会場内 受付テント横

日 時：9月27日（金）15：00～16：00、または当日選手受付時間

- ・給水竿が不合格となり、再検査を命ずる場合もある為、なるべく前日（27日）の竿検査を推奨する。
- ・10km競技中に栈橋に入場できるのは、エントリー時に給水コーチとして登録した者のみとし、栈橋入場許可登録を、上記日時に行うこと（ADカードへ栈橋入場許可のシールを貼付）。
- ・給水竿（フィーディングポール）は5m以内とし、その先端にはロープやワイヤーが垂れさがってはいはならず、30cm×20cm以内のチーム旗のみ装着することが許される。
- ・給水竿のチーム旗は布製とし、ラミネートされた掲示類は認めない。
- ・合格竿には検査済証シールを貼付する。
- ・5km競技で給水はできない。

■大会当日 ウォーミングアップ

日時：

- 9月28日(土) <女子5 km> 7:15~8:00 当日指定エリア
<男子10 km> 7:15~8:00、10:30~11:00 当日指定エリア
9月29日(日) <男子5 km> 7:45~8:15 当日指定エリア
<女子10 km> 7:45~8:15、10:45~11:00 当日指定エリア

・必ずADカード持参のうえ「入退水」のチェックを受けること。

■給水エリア入場方法および注意

- ・給水栈橋は、スタート前には入場できない。
- ・ADカードに栈橋許可シールが貼られた登録済みコーチ以外の関係者は、栈橋に入場できない。
- ・競技スタート前、コーチは栈橋入口にて選手ナンバー順に列を作って待機し、係の指示で入場すること。
- ・給水およびコーチングは、指定された給水エリアで行う。
- ・給水竿は、今大会の検査済証シールを貼付したものを使用すること。
- ・給水エリアでコーチに違反行為があった場合、当該コーチではなく、競技者本人にイエローカード、または、レッドカードの処分が課せられる。(OWS5.3.1 及び5.3.2)
- ・給水エリア内での撮影行為は禁止とする。
- ・給水エリアから物(食べ物を含む)を投げてはならない。
- ・選手は給水竿か手渡しで物を受け取らなければならない。(但し、選手と給水コーチは同時に物に触れてはいけない) (OWS 5.15)
- ・コーチが他の選手の妨害をするなどの行為があった場合は競技者本人へイエローカードが出される。
- ・指定エリア内であればどこで給水を行っても良いが、同じ場所に居座る(占有する)ことを禁止する。
- ・担当選手の給水・コーチングを終えたら一旦後列に下がり、他のコーチと譲り合って利用すること。
- ・給水竿は前列に置いたままで良いが、保冷バック等は給水エリア後方に置くこと。
- ・海上に浮遊するコップ等のゴミは、タモ綱等により責任を持って回収し、各自で処分する。
- ・給水エリア最後方は通行できるように空けておくこと。
- ・競技終了後は、飲み物容器やゴミ等は必ず持ち帰ること。
- ・ホイッスル、メガホン等の拡声機材は使えない。

■選手招集

- ・選手招集の際は、ADカード、チーム受付時の選手バッグ(選手個人袋)を持参すること。
- ・トランスポンダーを両腕に装着してくること。
- ・審判長からの最終ブリーフィング後、選手コールが始まったら、競技役員の指示に従いビーチ待機位置へ移動する。
- ・ビーチ入口で係員にADカードを入れてビーチ待機位置へ移動する。
- ・サンダルやセーム等の荷物をビーチ待機位置まで持っていく者は、選手個人袋もビーチまで持参する。
- ・ビーチでの並び順は自由とする。
- ・入水直前にサンダルを含めた全ての個人手荷物を選手個人袋に入れること。
- ・選手個人袋はフィニッシュ後に招集テントの自分の椅子にて回収する。
- ・選手個人袋に入れずにビーチに残された荷物は全て忘れ物とし、招集所に集め最終的に処分する。

■スタート

- ・スタートラインは、水面に張られたロープにより示される。
- ・選手の並び順は自由とする。
- ・選手はスタートライン(ロープ)の前に位置し、後ろ手(片手)でロープを握り、フローティングで待機する。
- ・審判長のホイッスルの後、スターターのホーン(=フラッグの振り下ろし)によりスタートする。

■ラップゲート

- ・第4ブイ付近にラップゲートを設置する。
- ・選手はスタート時を除き、周回毎に必ずラップゲート内を通過しなければならない。

■フィニッシュおよび途中退水

- ・フィニッシュゲートのタッチ板にタッチした時点でフィニッシュとする。(手のひらで確実にタッチすること)
- ・タッチ板にタッチしなかった場合は、フィニッシュと認められない。

- ・フィニッシュした選手は必ずトランスポンダーを返却しなくてはならない。紛失した場合は、参加者の実費負担とする。
- ・レース途中でトランスポンダーを紛失しても左右どちらかに1個のトランスポンダーが装着されていればフィニッシュと認める。トランスポンダー2個紛失の場合はフィニッシュと認めない。
- ・競技途中で退水（リタイア）をした場合は、必ず救護テントにて、医師の診察を受けること。また、ADカードを持った競技役員が来るまで救護テントで待機し、トランスポンダーと引き換えにADカードを受け取ること。

■表彰

- ・競技終了後、上位3名は表彰式を行う。
- ・1位は牌と賞状、2位・3位はメダルと賞状、4位～8位は賞状を授与する。
- ・各競技終了後、大会本部にて各自で賞状を受け取る（ADカードを持参する事）。

■選手ナンバー

- ・選手ナンバーは、（公財）日本水泳連盟事務局にて機械式自動抽選を実施し、決定する。
- ・（公財）日本水泳連盟ホームページにて確認すること。

■OWS競技映像ライブ配信について

- ・男女各競技とのYouTubeにてライブ映像配信する。
- ・ドローン撮影を行う予定であるが、選手の上空は飛行しないよう調整をおこなう。

■荒天時の対応

- ・天候状況により、9月28日（土）～29日（日）2日間の大会期間の中で競技開始時間・コース・距離を変更して行う。
- ・競技実施の可否および競技方法の変更等については、当日朝6時に決定し、その後、本連盟ホームページ内OWS委員会「お知らせ」欄にて通知する。
- ・上記以前に開催が難しいと判断した場合も、同じく「NEWS お知らせ」欄にて通知する。

■緊急中止の対応

- ・緊急中止の際は、審判長から合図を送る。合図があったら、一番近くのブイまで泳ぐこと。その後はライフセーバーの指示に従うこと。
- ・緊急中止になった場合でも、退水時にドーピングコントロールデスクでトランスポンダーを返却し、ADカードを受け取ること。
- ・緊急中止となり、かつ再レースが不可な場合は、直前のラップゲートの順位を最終順位とする。
- ・その他、津波等の急な自然災害により競技を中止する場合もある。その際は係の指示に従う。

■その他

(1) OWS競技の水着

- ・（公財）日本水泳連盟「水泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規定」に準ずる。この基準はスイムキャップやゴーグルにも適用されるので、受付時に検査を受けること。

https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/rule/r_k16_20230326.pdf

(2) 安全について

- ・（公財）日本水泳連盟「OWS競技に関する安全対策ガイドライン」に則り実施する。
https://swim.or.jp/assets/files/pdf/pages/about/index/g_03.pdf
- ・（公財）日本ライフセービング協会から派遣されたライフセーバーが海上でガードする。
- ・棄権の場合は、大会本部に申し出ること。
- ・途中棄権の場合は、ライフセーバーに申し出てその指示に従うこと。
- ・緊急時には競技役員、係員の指示に従い避難すること。
- ・競技中、伴漕するライフセーバーに選手を先導する役割はない。なお、明らかなコースアウトと判断された場合には“善意の第三者”として方向修正等のアドバイスを行うことがある。

- (3) 本大会は、上訴審判団を設置する。競技に対して抗議する場合は、結果掲示後30分以内に大会本部の抗議書に必要事項を記入し、抗議申請料50,000円とともに大会本部に提出すること。抗議内容が認められた場合は、抗議申請料を返金する。
- (4) 選手選考を辞退する場合は、辞退届を大会当日の種目ごとの選手受付終了時間までに、大会本部へ提出すること。
- (5) 本大会は、JADAによるドーピング検査対象となる。
- (6) 本大会中は、館山旅館の屋外シャワー（温水）を利用する事ができる。
- (7) ウェアラブル端末は事前申請した機器だけを許可し、当日の申請は認められない。申請があった端末と異なった端末や、機器の不正利用が認められた場合、レッドカード処分にする場合がある。
- (8) 会場内での応援に対して特段の制限は行わないが、近隣住民に配慮する等、節度を保つこと。
- (9) 本大会は自然の環境下で行われる。各自の健康状況には十分に留意し、体温が調節しやすい服装が望ましい。

以 上

連絡事項

その他資料は、整い次第、公開いたしますので、引き続きホームページを確認してください。